



婦人市民講座生のボランティア学級

年非常に高まり、一般婦人学級生の中からも、より深くまたは高度のものを求める声が聞かれるようになってきている。

原町公民館では婦人学級生の中からクラブ活動として「ママさんコーラス」が誕生し、毎週猛練習を続け仲間づくりに成果をあげている。また昨年から同学級生を中心に「バレーボールクラブ」「卓球クラブ」が生まれ「健康と仲間づくり」をスローガンに輪をひろげつつあり、本年度は「ギタークラブ」今後は「絵画クラブ」「陶芸クラブ」などの要望も高まりつつある。

先に誕生した「俳句教室」「茶道教室」などは今は完全な自主活動のクラブに発展、公民館は場の提供ですむまでに

表 昭和53年度 原町婦人市民講座学習計画(ボランティア学級)

月日	課題	学習と実践	時間	指導助言者
6/7	私達の婦人講座	○開講式	0.5	教育長 館長 公民館職員
		○講座運営について 開設の意義 学習計画 諸係の分担	2.0	
6/28	婦人の生きがい	○婦人の学習と社会参加 ○ボランティアの意義 講話と話し合い。	2.5	県社教主事 公民館職員
7/5	婦人の生きがい	○ボランティア活動の実際(フィルムフォーラム) 講話と話し合い。	2.5	公民館職員
8/2	課題の発見と実践計画	○身近・地域にはどんな問題があるか。 話し合い(必要があれば現地視察)	1.5	〃
		○私たちになにができるか 実践活動の計画	1.0	
8月～	ボランティア活動	○実践計画に基づく継続的実践活動(現地)	継続	
10/4	余暇利用と仲間づくり	○野外活動 いも煮会 レクリエーション (現地研修)	3.5	公民館職員 レノ协会会员
11/1	郷土の歴史	○市内の文化財 現地研修と事後指導	3.0	県社教主事 公民館職員
12/6	家庭生活	○栄養と料理 講話と実習	2.5	高校教諭
2/7	「ことば」の学習	○「ことば」と人間関係 ○日常の外来語 講話と話し合い	2.5	公民館職員
3/7	ボランティア活動の反省と学習のまとめ	○ボランティア活動の実践発表 ○反省と話し合い ○年間学習のまとめ ○閉講式	2.5	〃

なっている。こうしたクラブ活動の充実は今後の課題となろう。

ボランティア活動への意識の高まりを背景に「婦人市民講座」(ボランティア学級)(表参照)が発足したのはこの五月であったが、予想をこえる応募者があつた。毎月の学習のほかに実践活動を展開しており、今後の活躍が大いに期待されている。

### 三、これからの課題と展望

社会教育はいろいろな意味で地域社会の向上と自己教育にあるとするならば、「地域に根ざした婦人の教育」を行うのが当然のことであるが、一地域に根ざした教育の具体策を実行するとはなかなかむづかしいことである。しかし、今回の「婦人市民講座」に集まった婦人がたの意識をみると、「自分たちの手で地域づくりを」という意欲にもえていることがはつきりうかがえ、こうした地域住民の潜在意識をどのようにしてくみとり、組織化するかが課題であると考ええる。「地域に根ざす」課題の一端がこの辺にあると思う。

次に、これまで行政側では、行政目的を進める上で必要な各種の婦人団体を結成し活動費を交付してきているわけであるが、その反面地域団体が衰微していることも事実である。こうした役所が作った単目的団体は、そのこと

に関心のある婦人の集まりであるから地域にあまねくいきわたっているわけではないし、地域ぐるみの共感を醸し得るかどうかが疑問である。地域に根ざした地域団体への還元策を考えてゆかなければ、地域団体は遠からず枯渇するかも知れない。

一方、地域団体のマンネリ化も指摘されるところであり、社会的要請に敏感に対処できなかった組織機構の不備があつたわけで、こうした不備を早く解決すべく取り組む必要がある。地域に根ざした組織及びその運動の育成という前提に立ち、地域婦人団体の充実、そのための指導者層の養成、組織化こそ課題であると考えられる。